

錆びて腐食した浴室排水トラップの封水機能を短時間で回復

日本総住生活は、60年にわたりUR都市機構とともに団地の修繕や管理に携わり、古い集合住宅の居住者の視点に立った上で“世の中にないものは自ら作る”をモットーに「リノチョイス」の商品群を開発してきた。

「リノチョイス」は、昭和30～50年代に建設された団地、マンション、社宅などに向けたさまざまな修繕部材、工法、専用工具の総称ブランド名。「浴室排水トラップ補修キット」は、UR賃貸住宅や分譲住宅等のリニューアル工事で多数の採用実績がある。

【特長】

①浴室排水トラップの補修を容易に行える

交換や補修が困難だった、在来工法の床打込み浴室排水トラップ本体の補修が可能に。

②わずか半日の作業で封水機能を回復

樹脂製内筒と熱収縮チューブが、床打込み浴室排水トラップの鋳鉄部の腐食により低下した封水性能を回復。わずか半日の作業で、共用排水管からの悪臭上がりを解消する。

③専門の作業員は不要

作業手順は同梱の施工要領書に明記されており、特殊工具は必要なく、配管工による作業で補修が可能。



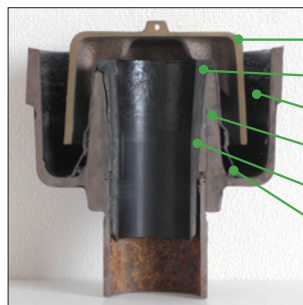
施工前



施工後

※共同開発：株式会社ベンカン

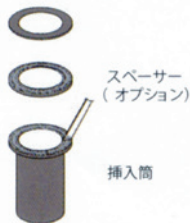
補修後のトラップ断面



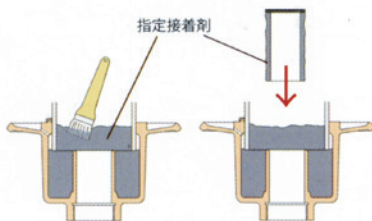
- 腐食に強い「黄銅製 専用碗」
- 「ABS樹脂製 トップカバー & スパースー」により立上がり高さを回復
- 本体内面は「エポキシ系指定接着剤」によりコーティング
- 筒外部をカバーする「PVC樹脂製 熱収縮チューブ」
- 立上がり部を補強する「ABS樹脂製 挿入筒」
- 排水効率を向上させる「ABS樹脂製 筒下カバー」

施工手順

①挿入筒のセット

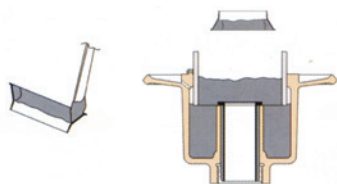


挿入筒の上部に指定接着剤を塗布して、トップカバーを取り付ける。スペーサー使用の場合は、間に挟んで取り付ける。



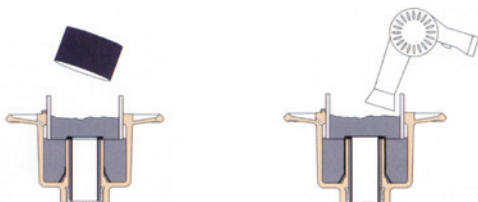
トラップ立上がり筒の外側に指定接着剤を塗った挿入管を差し込む。はみ出した接着剤は、トラップ内部に塗り込む（ゴム手袋を使用して手塗るのが効果的）。

②筒下カバーのセット



筒下カバーの内側に指定接着剤を充填して、トラップ立上がり筒にセットする。

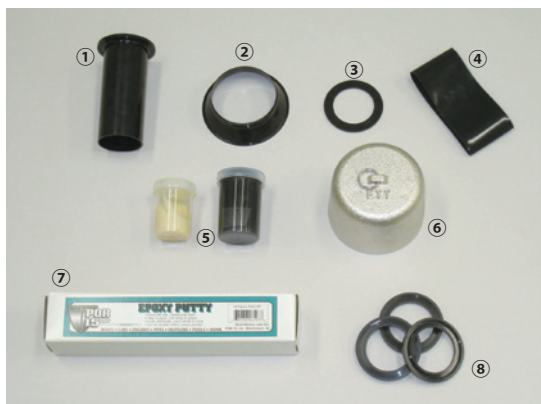
③熱収縮チューブのセット



筒下カバー上部に被さるように熱収縮チューブを立上がり筒に被せる。

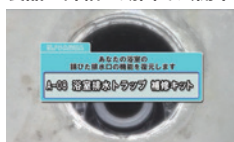
ドライヤーで温風（弱風）を熱収縮チューブへ均一に当て収縮させ、4時間以上放置する。専用椀を取り付けて完了。

キット内容



- ①挿入筒
 - ②筒下カバー
 - ③トップカバー
 - ④熱収縮チューブ
 - ⑤指定接着剤
 - ⑥専用椀
 - ⑦指定パテ
 - ⑧スペーサー (3t・5t)
- ※⑦⑧はオプション

製品の詳細を動画で公開中



動画は下記
二次元バー
コードより

